

埼玉支部リアル勉強会 2024/02/23

認識のすり合わせ

見える化流は

- 4時間足の優位性に賭けたトレンドフォローをするスタイル
  - 賭ける 統計的にそうなりやすい方を選ぶ ということ
  - 優位性とは統計的にそうなりやすい ということ 次のトレードが ではない
  - 4時間足がどうなりやすいのか? ということにフォーカスし続ける
- 武器はダウカウント
  - ダウカウントは損切りがどこに入っているのかを考えながらカウントする (みんなの損切りが溜まっているところ=注文が集中している)
    - つまり、ダウカウントで**注文の集中が見える**ようになる
    - そこに水平線をひく
    - 損切りは高値を超えたことのある安値におくのが基本
  - 明確な、全員が を意識する 4時間で見えることが大切
  - ダウ理論はそうやってみてる人が多いよね理論 (2023/3/25月末反省会)

ということは、高安値更新や注文の集中を割ったり超えたりすることで**相場の方向・勢いが見える**ようになり、**市場参加者の気持ち、気持ちの変化も見える**ようになる

4時間足の優位性とは

- 4時間足で**高安値を更新する** トレンド転換orトレンド継続
- トレンド**
  - 高値超えたらなんだっけ
- 直撃エリア**
  - 61.8%以内で節目がある
- 確認**
  - 時間経過が十分である
  - 4時間足が本当に止まったのかを確認する どうやって?
- 注文の集中**
  - 1時間足の注文の集中を抜けたところがエントリーポイント
- 波は3回まで継続しやすい

4時間足

エントリーポイントの確認

4時間足が止まった確認を1時間足で

- 4時間足の根元を1時間足で探そうとしている
- 1時間足がどうなったら4時間足が止まったと判断する?
- 2回直撃エリアで底・天井を作る
  - ローソク足1本が止まるではない
  - 波の形で止まる 波の形が1つ見えたら1回止まった と考える
- 1時間足がネックラインをつくり、1時間足が高安値を更新する 1時間足の方向が4時間と同じになったところ

前回高安値が怖くて入れない病

- 負けること・損切りに遭うことを考えてたらそりゃ入れない
- 期待をする・勝ちたい・取りたいという欲が次のトレードの実行を邪魔をする
- FXはチャンスを探みにいくもの
- 前回のトレードと今回のトレードは全く関係ない
- トレンド発生は前回の高安値を超えることが前提というのをもっと意識する
- 指標は燃料 市場参加者の総意がそこで現れた
- エントリー直後に逆行して損切りになるイメージが強い人は改めて自分がどこでエントリーしてそうだったのか分析する
- 心理的危機回避をするためにどこもかしこも避けようとしてくる